

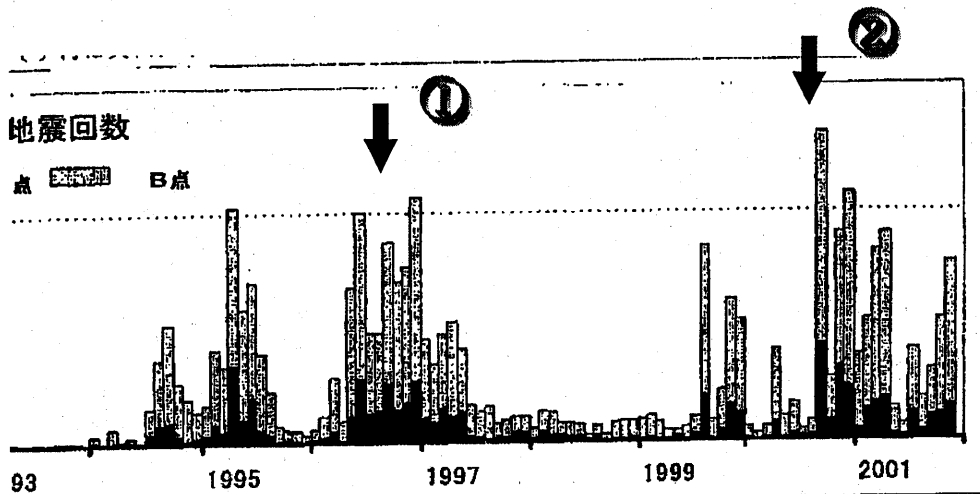
浅間山とその周辺地域の地殻変動*

Crustal deformations of Mt. Asama and its surrounding area

国土地理院

Geographical Survey Institute

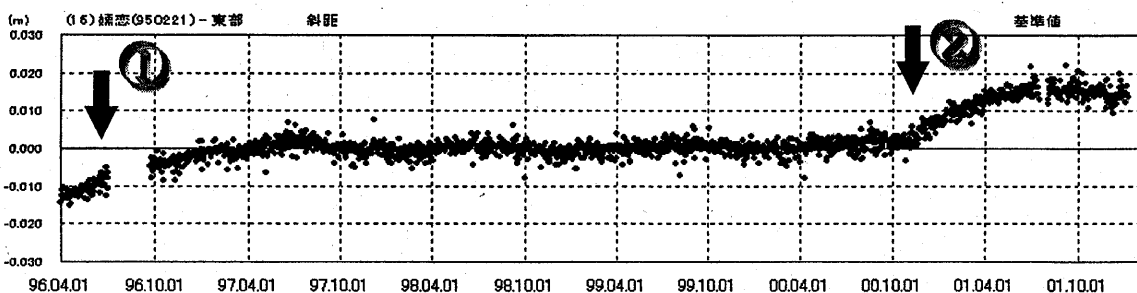
第1-1図～第1-3図は、浅間山周辺のGPS連続観測結果である。浅間山をまたがる東部-嬬恋基線の1996年4月-2001年1月間の基線長について、地震の少なかった1997年6月-2000年7月間の変化が水平になるようにデトレンドした時系列を見ると、1996年（第1-1図中の①）および2000年暮れ頃から（図中の②）の時期に基線が通常より延びていることがわかる。両時期とも地震数が増えているので、この伸びは地震活動に伴って発生していると考えられる。また、2000年暮れころに現れた変化成分の空間分布を第1-2図に示す。浅間山を中心とした膨張傾向の変動が発生していたように見える。地震活動に伴って、地下では、何らかの物質移動または圧力変化が起こっていたことが示唆される。



浅間山月別地震回数 気象庁軽井沢測候所定期火山情報資料

GPS 嬬恋—東部基線 回帰直線との差のグラフ

トレンド計算期間:1997年06月01日 - 2000年07月08日



国土地理院

第1-1図 浅間山周辺の地殻変動と地震との関連性

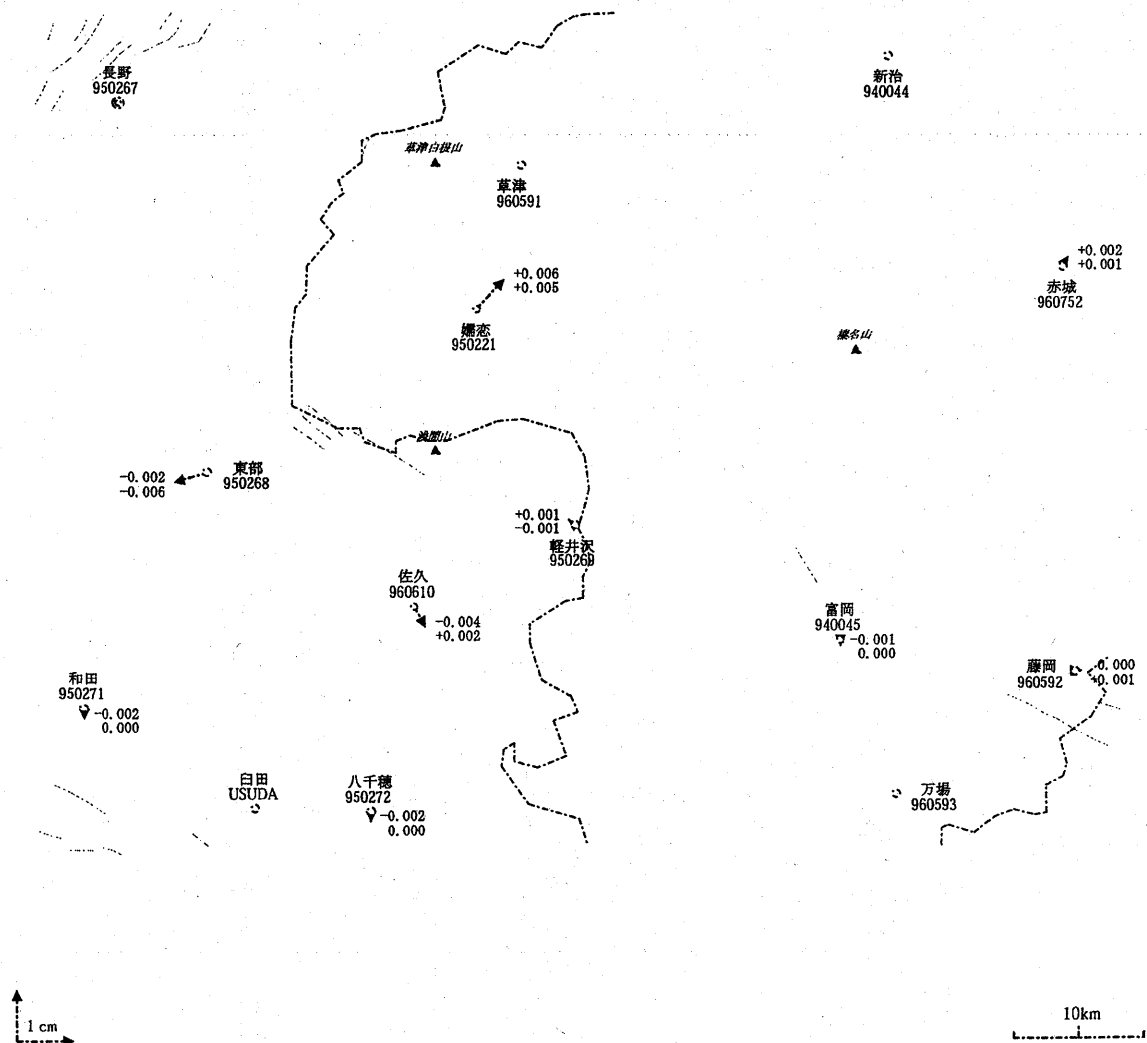
Fig.1-1 Relationship between Crustal Deformation around Mt. Asama and Seismic Activity.

* Received 8 Jul., 2002

基準日 2000年08月01日 ~ 2000年08月30日
 比較日 2001年07月15日 ~ 2001年08月30日

水平変動ベクトル図
 (帰直線との差)

固定点: 長野(950267)

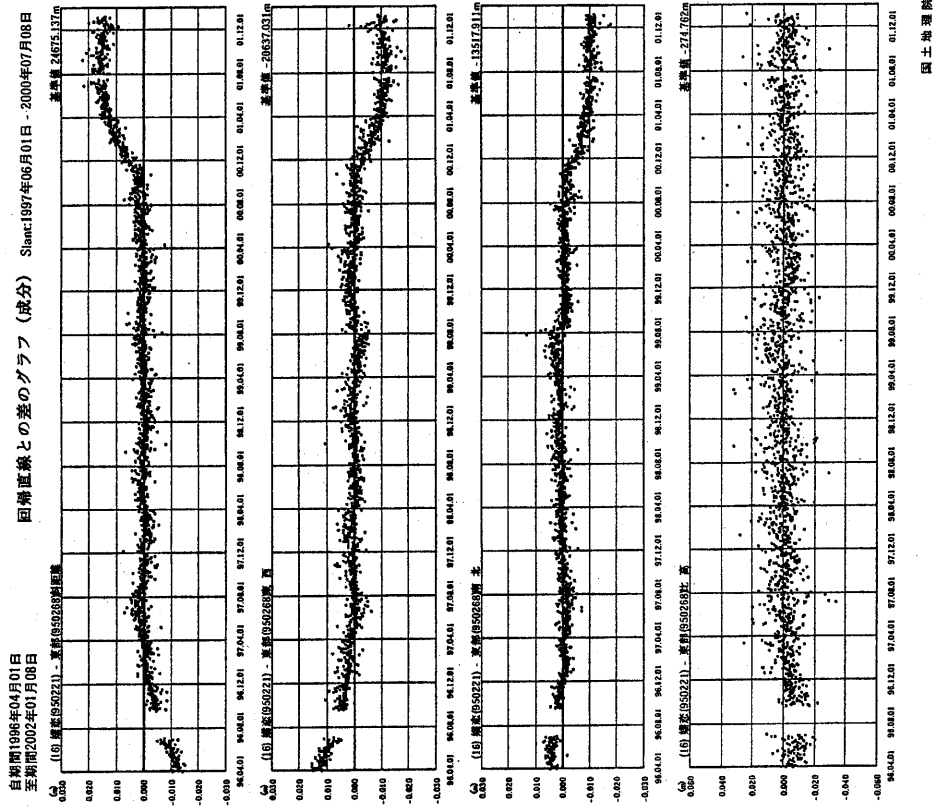


国土地理院

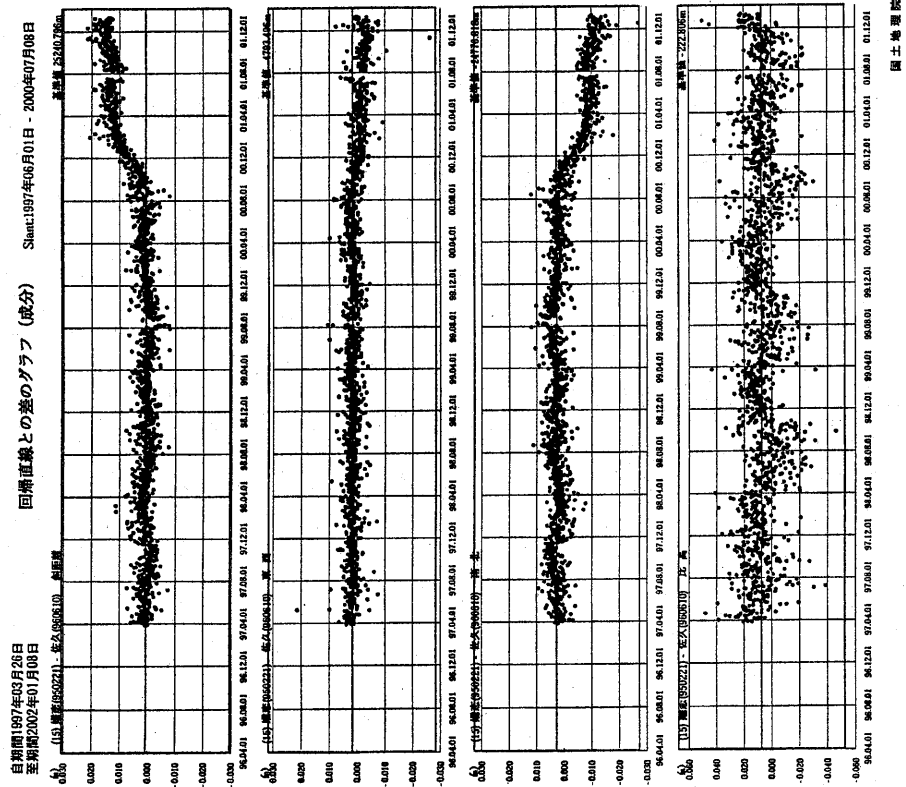
第1-2図 浅間山周辺の地殻変動と地震との関連性

Fig.1-2 Relationship between Crustal Deformation around Mt. Asama and Seismic Activity.

嬭恠—東郞基線各成分時系列 (定常状態トレンド除去済)



嬭恠—佐久基線各成分時系列 (定常状態トレンド除去済)



第1-3図 浅間山周辺の地殻変動と地震との関連性
Fig.1-3 Relationship between Crustal Deformation around Mt. Asama and Seismic Activity.